

ぷるぷるむすめの だいぼうけん



制作:紀の川市食育紙芝居・カルタ制作部会

ぷるぷる娘のだいぼうけん(絵01)

1

ぷるぷる娘の だいぼうけん

わたしたち 元気な 6人姉妹

《線①まで抜く》

やわらかくて ふにふにの 「いちじく」 じくぷる

《線②まで抜く》

ちよぴり苦くて さわやかな 「はつさく」 さくぷる

《線③まで抜く》

んーいい香り! あまくてみずみずしい「もも」ももぷる

《線④まで抜く》

ジュワーとあまくてビタミンCたっぷり「かき」かきぷる

《線⑤まで抜く》

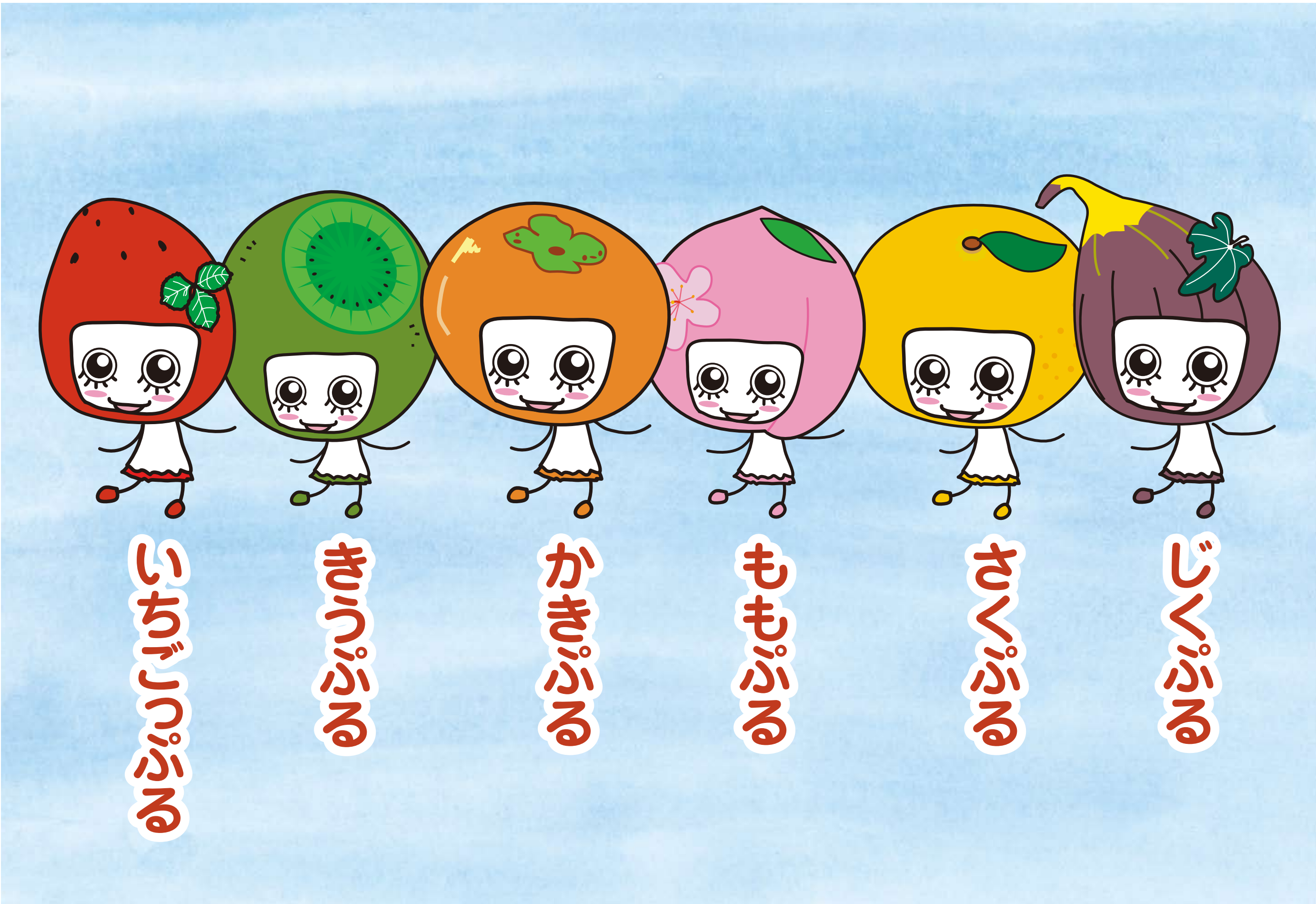
あまずっぱくて緑あざやか「キウイフルーツ」きうぷる

《全部抜く》

ケーキの花形 ぷちぷちかわいい「いちご」いちごぷる



ぷるぷる娘のだいぼうけん(絵01)



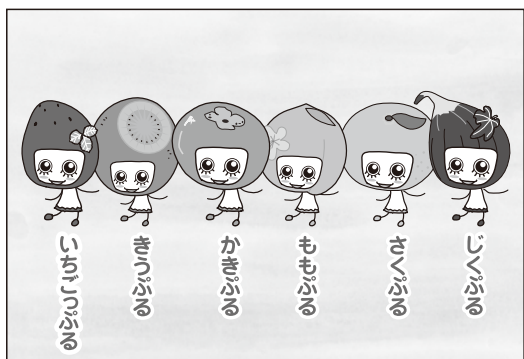
ぐるぐる娘のたいばうけん (絵02)

2

さあ みんなで

ばうけんに でかけましょう

1



ぐるぐる娘のたいばうけん (絵02)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵03)

3

6人^{にん}が 歩いて^{ある}いると 花粉症^{かふんしやう}で
困^{こま}っている おねえさんが いました。

《おねえさん》「ハックシヨン ハックシヨン
くしゃみが とまらない」



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵03)

《いちご^{いちご}ぷる》「わたしをたべて

きつとくしゃみが とまるわよ」

たべてみると くしゃみは
少^{すこ}しおさまりましたが
まだとまりません。

《さくぷる》「じゃ わたしを たべてみてよ」

《おねえさん》「いやよ あなたは にがくて
すっぱいんだもの」

《さくぷる》「すこしだけでも たべてみてえ」

《おねえさん》「じゃあ たべてみるね」



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵04)

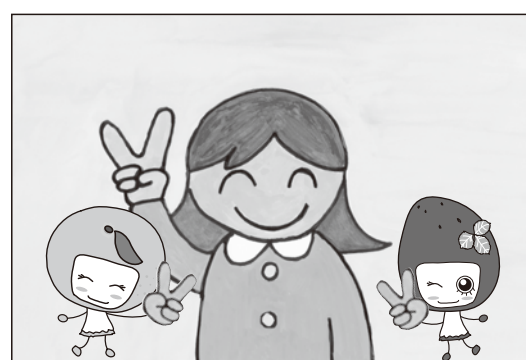
4

おねえさんが たべてみると
くしゃみは すこしずつ
止ま^{とま}つていきました。

《おねえさん》「ありがとう

これからたべるわ」

と よろこんでくれました。



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵04)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵05)

5

また ある 歩いていると
 こんどは からだじゅうが
 かゆくて かゆくて たまらない
 おにいさんに あいました。

そこで さくぷるが
 こんども なお 治そうとしましたが
 かゆみがとまらず がっかり

そこで ももぷるが
 「わたしなら なお 治せるかもしれないわ」
 と もものはっぱの しるを
 つけてあげました。



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵05)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵06)

6

すると どうでしょう

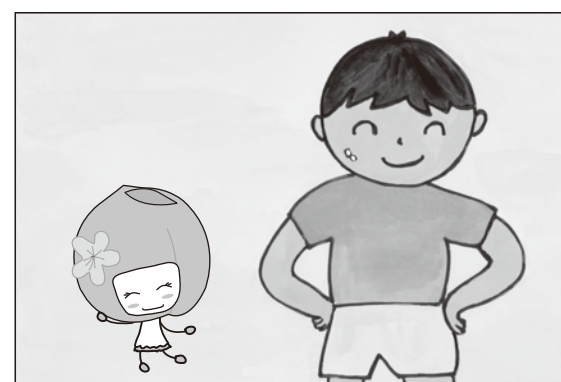
かゆみは とまりました。

《おにいさん》「ありがとう

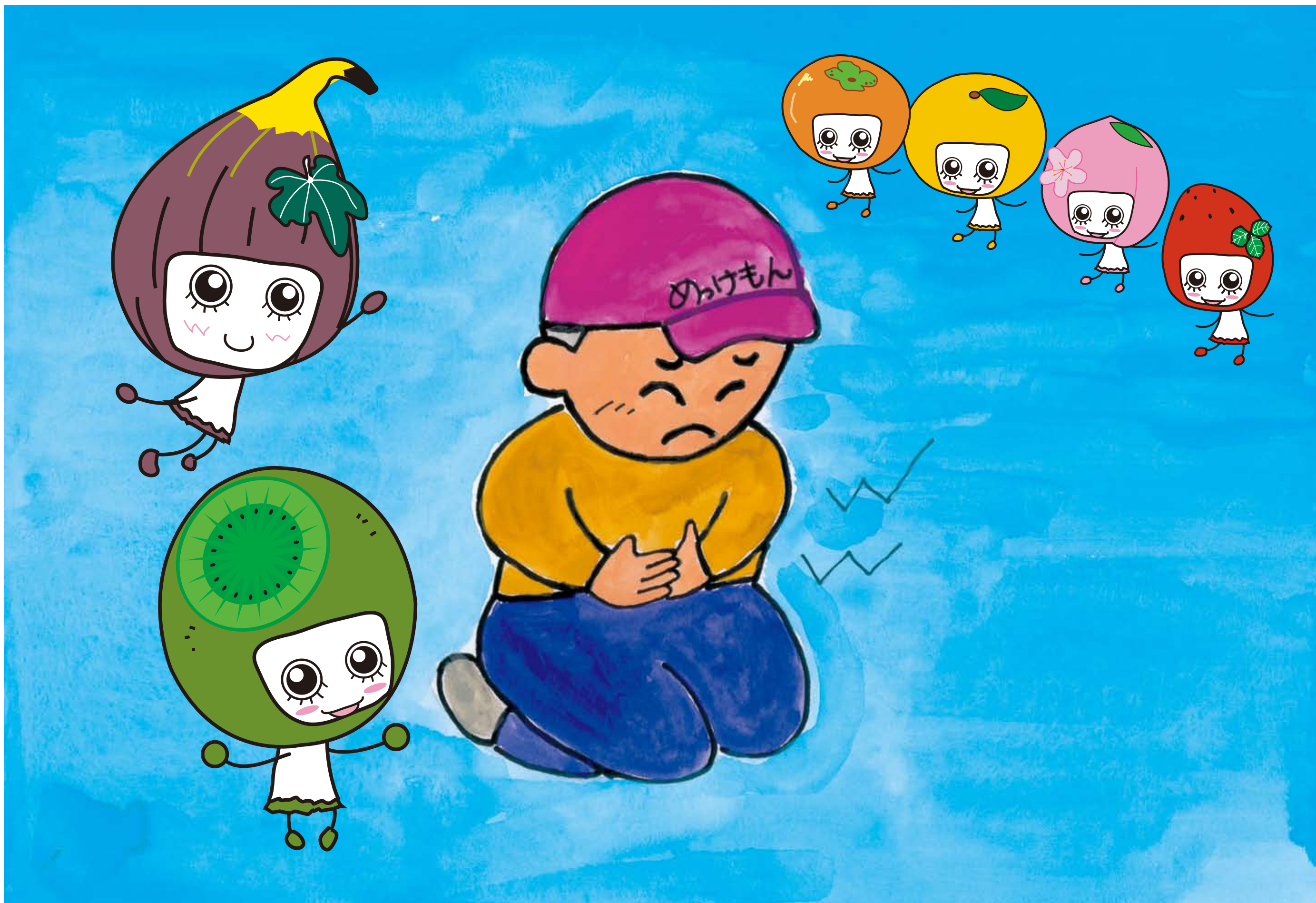
ももふるの おかげだよ」

《ももふる》「どういたしまして」

と ひとたす 人助けができて よろこびました。



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵06)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵07)

7

またまた あるいていくと
すわりこんで おなかを
おさえているひとに であいました。



6にんが「どうしたの」と たずねると

《おじさん》「もう1週間^{しゅうかん}も うんちがでなくて
おなかが いたくて
うごけないんだよ」

《じくぷる・きうぷる》
「それなら わたしたちを たべると
すつきり うんちがでるかも」

じくぷる と きうぷるが
こえを そろえて いいました。

たべてみると なんと (めくりながら)

ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵07)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵08)

8

うんちが^で出て すっきりです。

《おじさん》 「ありがとう

これで めっけもんまで
おしごと^に いけるよ。」

《6にん》 「がんばってねー」



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵08)



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵09)

9

また また また
6にんが あるいていくと

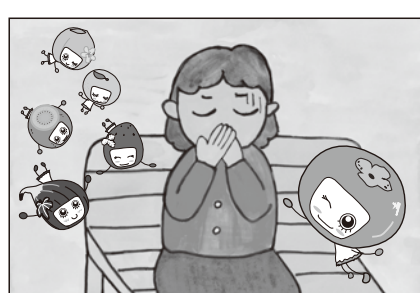
こんどは からだが あつくて
熱^{ねつ}がありそうな おばさんが
ベンチにすわっていました。

そこがかきふるが

《かきふる》 「わたしをたべると からだが
ひえるというひとが いるから
たべると 熱^{ねつ}がさがるかも
しれないわよ」

と いいました。

そこで おばさんがたべてみると



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵09)



ぐるぐる娘のだいばうけん (絵10)

10

あら ふしぎ

熱は さがつてしまいました。

元気になった おばさんは

《おばさん》「ありがとう おかげさまで

元気に なりました。

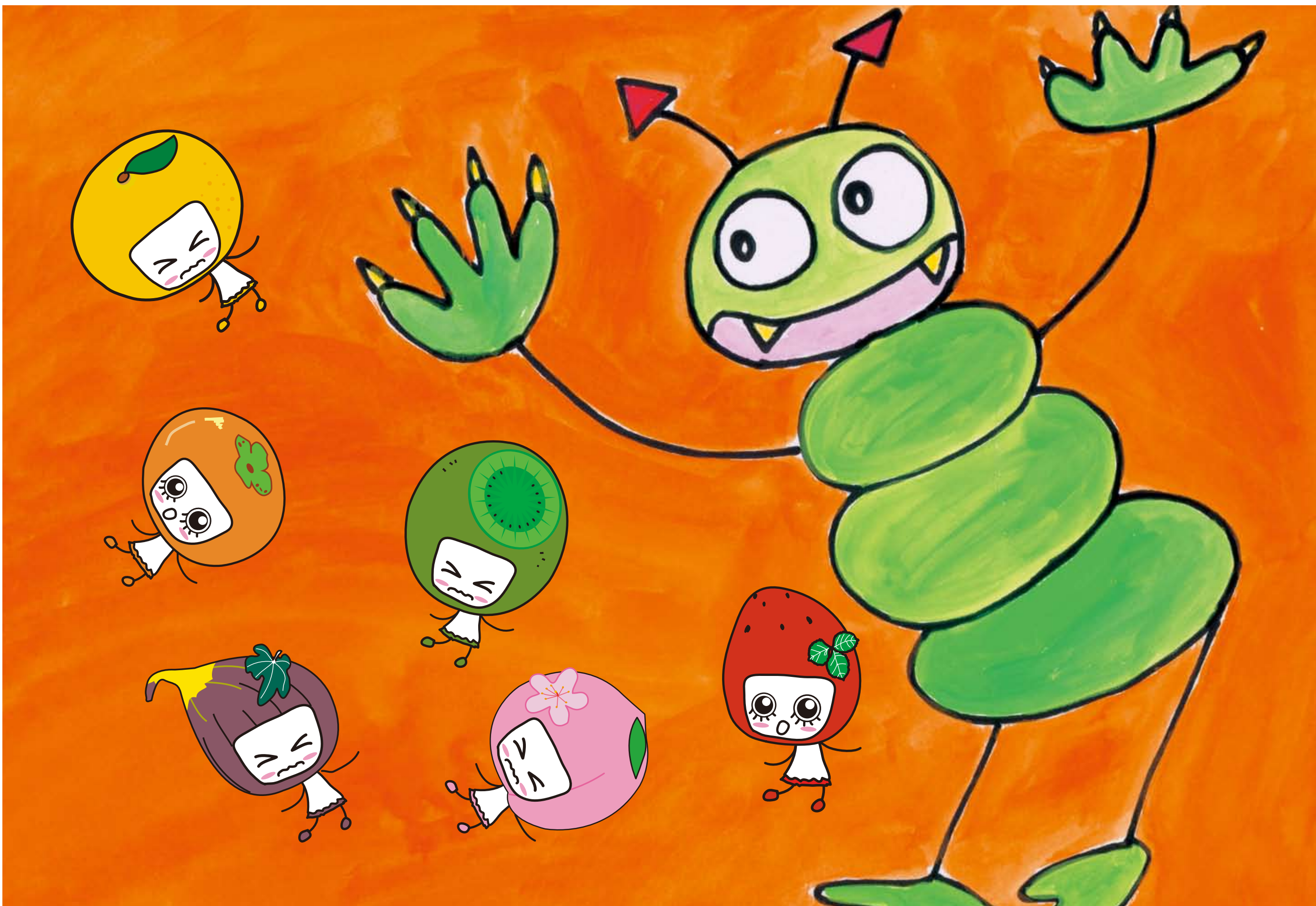
これで おかいものにいきます。

さようなら」

6にんは 人助けができて おおよろこび



ぐるぐる娘のだいばうけん (絵10)



ぐるぐる娘のだいぼうけん (絵11)

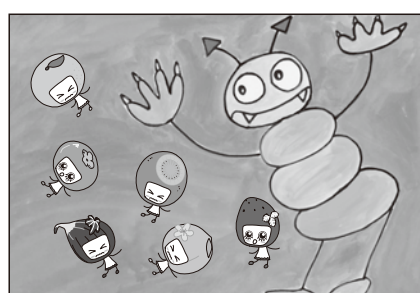
11

しばらく あるいていくと

めのまえに

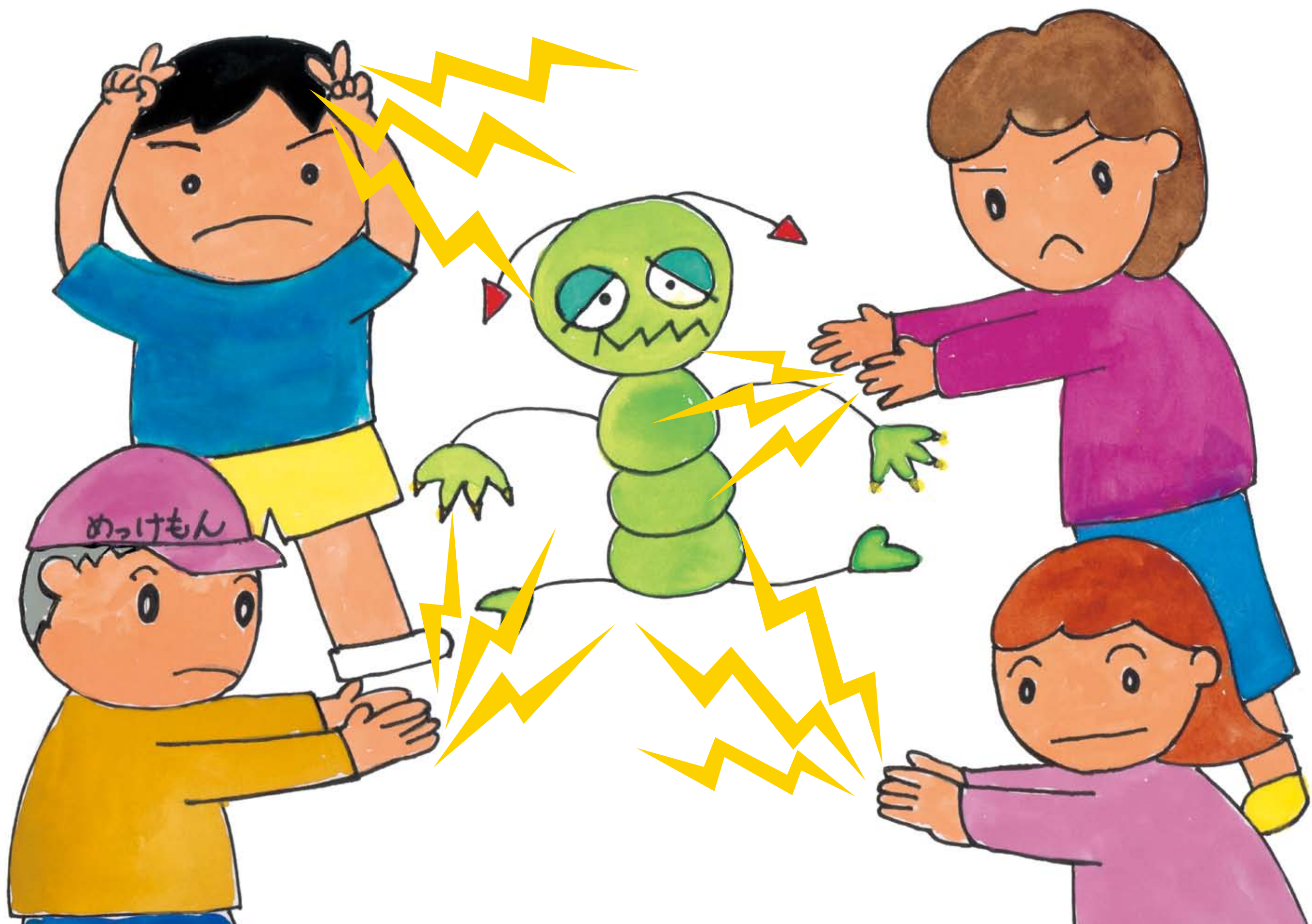
ぐるぐる娘たちの むすめ だいきらいな

むしむしかいじゅうが あらわれました。



ぐるぐる娘のだいぼうけん (絵11)

《6にん》 「キヤー たすけてー!!」



ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵12)

12

さけびごえをきいて

元気^{げんき}になった みんなが

かけつけてきてくれました。

《みんな》 「さっきはありがとう。

こんどは 私^{わたし}たちが 助^{たす}けるよ」

といって ぐるぐるこうせんで

あつというまに むしむしかいじゅうを

やつつけてしまいました。



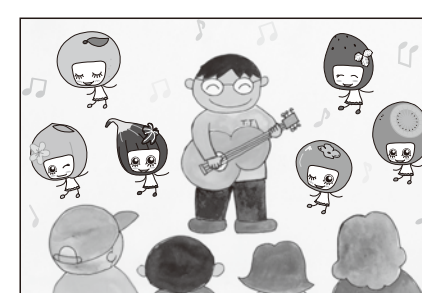
ぐるぐる娘のたいぼうけん (絵12)



ぐるぐる娘のたいぼうけん(絵13)

こんどは ぐるぐる娘たちが
助けてもらい
お札に 私たちの歌
「紀の川ぐるぐる娘のうた」を
うたつて プレゼントしました。

(6人で 紀の川ぐるぐる娘 をうたう)



ぐるぐる娘のたいぼうけん(絵13)

♪紀の川ぐるぐる娘の歌♪

おーい おいでよ 子供たち
ようこそ果物王国へ
バナナとパイナップル以外
何でもとれる 紀の川市
じくふる さくふる ももふる
かきふる きうふる いちごっふる
みんなが元気な 6人姉妹
毎日 くたもの 食べましょう

紀の川のふるふる娘
おいしく たのしく ほがらかに
和歌山のみずみずしさを
あなたにあげたい ぐるぐる娘
ぐるぐるぐるぐるぐるぐるぐるぐる
ぐるぐるぐるぐるぐる 娘